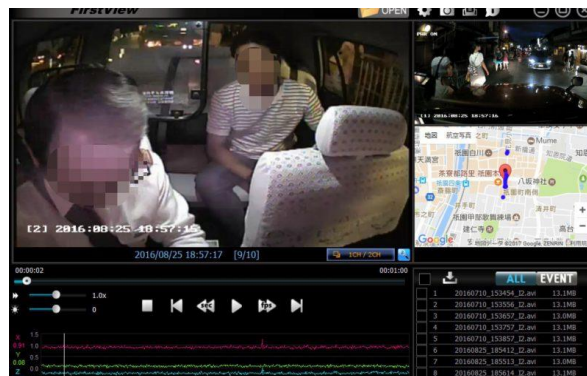


5. 輸送の安全のために講じた措置及び講じようとする措置

1. ドライブレコーダーの導入

第一交通産業グループでは交通事故の予防、乗務員の運転・接客マナーの向上、防犯のために、全国のタクシー・バスにドライブレコーダーを順次導入しています。



(1) ドライブレコーダーの導入実績

◇ 2018年（平成30年）度

全国のタクシー・バスにドライブレコーダー450台を導入 導入率：87.5%

◇ 2019年（令和元年）度

全国のタクシー・バスにドライブレコーダー75台を導入 導入率：88.2%

◇ 2020年（令和2年）度

全国のタクシー・バスにドライブレコーダー87台を導入 導入率：91.2%

◇ 2021年度（令和3年）度

全国のタクシー・バスにドライブレコーダー41台を導入 導入率：91.7%

◇ 2022年度（令和4年）度

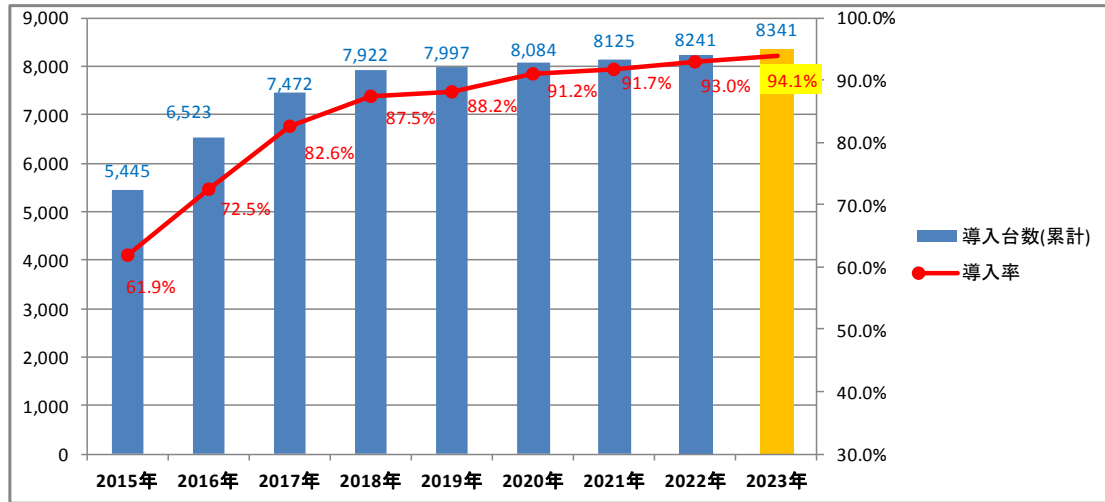
全国のタクシー・バスにドライブレコーダー116台を導入 導入率：93.0%

◇ 2023年度（令和5年）度

全国のタクシー・バスにドライブレコーダー100台を導入予定

◇ ドライブレコーダーの導入台数推移

年度	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
単年	3,236	1,078	949	450	75	87	41	116	100
導入台数(累計)	5,445	6,523	7,472	7,922	7,997	8,084	8,125	8,241	8,341
導入率	61.9%	72.5%	82.6%	87.5%	88.2%	91.2%	91.7%	93.0%	94.1%



衝突警報装置の導入

第一交通産業グループでは、追突や車線逸脱による交通事故を防ぐため、全国のタクシーに衝突警報装置を順次導入しています。



(2) 衝突警報装置の導入実績

◇ 2016年(平成28年)度

福岡地区のタクシーに衝突警報装置 369 台を導入

◇ 2017年（平成29年）度

北九州地区、北海道地区のタクシーに衝突警報装置 372 台を導入

◇ 2018年（平成30年）度

都市部を中心に衝突警報装置約 473 台を導入

◇ 2019年（令和1年）度

広島地区のタクシーに衝突警報装置 10 台を導入

2. その他の措置

◇ 2016年（平成28年）9月29日、弊社グループの那覇バス(株)及び(株)琉球バス交通において、貸切バス事業所安全性評価認定制度において **三ツ星** に認定されました。

このマークは、安全へ真摯に取り組み、厳しい条件をクリアしたバス会社に与えられる、信頼のシンボルマークです。貸切バスの安全に対する取組を証明するマークですので、バス会社を安心して選択していただく指標になります。



◇ その後貸切バス部門を(株)琉球バス交通に統一し、2022年12月19日に **三ツ星** に連続認定されました。有効期限は2025年3月31日です。また、10年を超える長期に亘り安全性評価認定制度の認定を継続したことによる表彰も受けることができました。

◇ 2017年（平成29年）4月 第一交通安全運転12箇条制定

第一交通安全運転12箇条

- ① 一般道路では60km/h 高速道路では80km/h以上出さない
[ロク・ハチ運動推進]
- ② 歩行者の待つ信号機のない横断歩道では **確実に停止して渡る**
- ③ 車間距離を **3秒間以上確保する**
- ④ 空車時は **左車線を走行する**
- ⑤ 停止線では **確実に停止し じわりと進み 二段階で確認をする**
- ⑥ 信号待ちでは **シフトレバーをNかPにしてサイドブレーキを掛ける**
- ⑦ 駐車場ではバック付けし お客様には横付けする
- ⑧ 動く前の **指差し確認**で 発進時やバック時の事故を防ぐ
- ⑨ 夜間は積極的にハイビームを適用する
- ⑩ リターンはハイリスクしない方法を選択する
- ⑪ 出庫前にチャイルドロックを掛けドア開放事故を防ぐ
- ⑫ お客様にシートベルト着用の声掛けと確認を行う

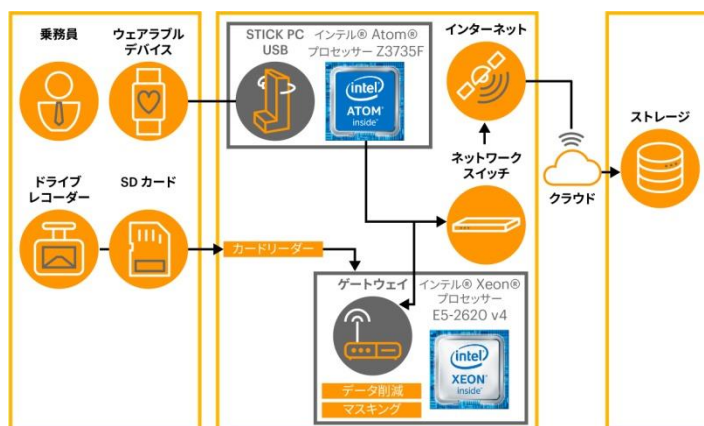
第一交通産業グループ

第一交通バス安全運転12箇条

- ① 運転業務中は **スマホ操作の電源は切り使用禁止**（回送時・駐停車中含む）
- ② **ゆるやかな発進**ショックの無いギヤ操作ブレーキ操作により **安全走行**に努める
- ③ 貸切バスは出発の際 **お客様にシートベルトの着用をアナウンスする**
- ④ 動作が完にならぬ頃に **先車する前に 指差確認**で車内の安全確認を徹底し発進する
- ⑤ 減速は法定内走行を徹底し **「車間距離を3秒間以上確保」し「わき見運転を絶対禁止」する**
- ⑥ 雨天時は速度を **法定より10km/h 落とし 車間距離を4秒間以上確保する**
- ⑦ 一時停止線では **まず停止し二段階で確認 安全 歩行者の待つ信号機のない横断歩道でも停止して渡る**
- ⑧ 信号待ちや待機時はギヤをニュートラルにして **サイドブレーキを強く掛ける**ブレーキペダルに足を乗せる
- ⑨ バックは **にまめに切り直して極力直進**に また **2m手前**で一旦停止後 停車位置を再確認後バックする
- ⑩ ガイド乗降時については **必ず降車して誘導する** ワンマンの場合は **自ら降車して確認する**（まずは安全最優先）
- ⑪ **行き先案内は確実に丁寧に行い 停車時は「ご乗車ありがとうございます。バス停で降車します。バスが完全に停車してから扉をお立ち下さい。」**等アナウンスによる注意喚起を徹底する
- ⑫ 積内の速度を **10km/h 以下に抑えて走行し 駐車の際は前止めを徹底**する

第一交通産業グループ

- ◇ 2017年（平成29年）8月 損保ジャパン日本興亜、アクセンチュアと自動車事故防止のための共同研究をスタート



- ◇ 2018年（平成30年）9月28日 本社部門及び沖縄の那覇バス、琉球バス本社・各事業所において **ISO39001**（国際標準化機構 道路交通安全）の認証を取得しました。



登録番号 JQA-R T0068



2018年10月30日 グループ本社での授与式